

令和5年度 第1回港区区政会議 全体会議 議事録

- 1 日 時 令和5年7月6日（木）午後7時～
- 2 場 所 港区役所5階会議室
- 3 出席者（委員） 対面：穴吹委員、池西委員、井本委員、ヴィダル委員、
加藤委員、北山委員、讃井委員、染矢委員、
武内委員、平井委員、山岸委員
WEB：牛島委員、高瀬委員、高満委員、
田口委員、中西委員、山田委員
（市会議員） 対面：西議員、藤田議員
（港区役所） 対面：山口区長、若林副区長、吉野総務課長、五十嵐総合
政策担当課長、細江エリア開発推進担当課長、
石田保健福祉課長、西堂協働まちづくり推進課長、
早川教育担当課長、松元保健・子育て支援担当課長、
吉川生活支援担当課長、桐谷窓口サービス課長、
前田総合政策担当課長代理
- 4 議 題
 - （1）令和4年度の施策・事業の評価について
 - （2）その他
 - ・ 区政会議「事前意見内容と区役所の対応・考え方」
 - ・ 区政会議で特にご意見を求めたい内容に対する委員からのご意見及び区役所の対応・考え方

○前田総合政策担当課長代理 定刻となりましたので、ただいまより令和5年度第1回港区
区政会議の全体会議を開催させていただきます。

本日は、先週の部会に続きまして、全体会議にお集まりいただきありがとうございます。

私は、総務課総合政策担当課長代理の前田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、お手元の資料①全体会議の次第をご覧ください。

本日の議題は、議題1、令和4年度の施策・事業の評価について、議題2、その他、区政
会議事前意見内容と区役所の対応・考え方、区政会議で特にご意見を求めたい内容に対する
委員からのご意見及び区役所の対応・考え方となっております。

議題の説明は短めに、議論や質疑を長めにとってまいりたいと考えておりますので、ご協
力のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

まず、①全体会議次第、続きまして、②資料一覧表、③港区区政会議委員名簿、④配席図、
⑤部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方、⑥-1事前意見内容と区役所の対
応・考え方、⑥-2カラー刷りの「すぐできる！からす対策ひと工夫」、⑦区政会議で特
にご意見を求めたい内容に対する委員からのご意見及び区役所の対応・考え方、⑧港区区政会
議に関する追加意見のご意見シートでございます。

続きまして、情報提供の資料です。

カラー刷りの「大阪市防災アプリ」のチラシ、「大阪市港区を応援！みなと未来基金」の
チラシ、A3サイズとなっております「弁天町駅前昇降設備工事のお知らせ」、「万博開催
に向けた市内全域での路上喫煙禁止へのご協力の依頼について」と、その関係資料が2枚つ
いております。カラー刷りの写真などが載った資料となっております。そして一番最後に、
「学校再編（学校適正配置）に向けた説明会のお知らせ」でございます。

以上が当日配付資料となっております。また、6月9日付で送付の事前配付資料は、皆様
お持ちいただいておりますでしょうか。もし資料のない方がいらっしゃいましたら、挙手でお
知らせをお願いいたします。大丈夫でしょうか。

それでは、会議に先立ちまして、山口区長よりご挨拶を申し上げます。

○山口区長 皆さん、こんばんは。お忙しい中、委員の皆様におかれましては、お集まりい
ただきありがとうございます。

区政会議の各部会では、区政運営に関する様々なご意見、また地域での出来事、そういつ
たことを共有していただきました。皆さんがまちをよくしたいという思いで日々活動してい

ただいていること、そういった気持ちが伝わってきました。ありがとうございます。

今年は例年より早い時期から大雨に対する警報も出ていまして、各地で大きな地震が発生するなど、災害のリスクに関しては年々高まってきていますし、皆さんも非常に感度が高いところだと思います。

また、小さな子どもが被害に遭う事件があったり、港区でも高齢者を狙った特殊詐欺の被害がなかなか減らない状況です。こういった安全・安心に関わる部分、しっかりまた議論もしていただきながら進めていけたらと思っていますし、コロナの影響で停滞していた地域活動も復活してまいりまして、その中で一人も取りこぼさないまちにするための福祉的な観点で、また意見交換も、部会でもしてきましたし、また今日もご意見いただけたらと思っています。

港区は大正14年（1925年）に誕生し、再来年、大阪・関西万博の開催年である2025年に区制100周年を迎えます。そこに向けてしっかり盛り上げもしていけないのですが、誕生期には市内で一番人口の多い区でしたが、戦争や大災害等で人口が減り、現在も年々減少しています。そのため、部会でも問題提起させていただきましたが、市内で一番生徒数の少ない中学校が発生していたり、小中学校での小規模校が複数校発生しています。本日は、この説明会のチラシも配らせていただいています。いろいろ意見交換する中で、まずは案を出してもらわないと議論ができないという声もありましたので、まずは港中学校、築港中学校でそれぞれ中学校、小学校両方の話を、1回目、2回目同じ内容ですので、開催したいと思っています。該当する地域に小さなお子様をお持ちの子育て世帯に情報が伝わるように私たちも学校を通じて、また保育園・幼稚園等を通じて周知もしていきますけれども、またお知らせいただけたらと思っています。

また、もう一枚、「みなと未来基金」というチラシがあります。実はふるさと納税は地元にもできるんですけれども、残念ながら市内の方が市内に、港区に寄附をしても返礼品というものがございませんのであまりメリットないと思われるかもしれませんが、お米とかお肉もいいんですけれども、ぜひ港区の未来のためにちょっとでも、心ある方とか、何かお金を持っていそうな方にぜひ周知いただけると嬉しいです。

いろいろ、日々課題がある中で、私たちも一生懸命区政運営しています。行政というのは非常に伝えるのが下手くそだということを、私も区長をやって7年目になりますけれども、やってもやってもなかなか情報が届かなくて、そこをまた区政会議で皆さんにご指摘もいただきながら、また皆さんにも伝えていただきながら、よりよくまちが変わるためにやっ

ることが伝わるように、私たちも頑張りたいと思っています。

そして、今日は「伝える」がテーマですので、今日で、9月末で任期が一旦終わりですので、何もなければ今日が最後の会になります。一言ずつ、ぜひとも発言をしていただいて、皆様のお声をしっかり聞いて、また次につなげたいと思っています。区政会議の委員をお務めいただいたことにまずは感謝します。ありがとうございます。そして、最後の一声をぜひともよろしく願いいたします。本日はお願いいたします。

○前田総合政策担当課長代理 ありがとうございます。

区政会議につきましては、「区政会議の運営の基本となる事項に関する条例」の規定により、委員の定数の2分の1以上の出席により成立することとなっております。この規定については、オンラインでの参加も含むものとなっております。

現在の出席状況は、委員の定数が23名のところ、オンラインでの参加も含め、16名の出席をいただいております。委員の2分の1以上の出席がございますので、有効に成立していることをご報告いたします。

また、本会議は公開とし、後日、議事録を公開するため、録音いたしますので、発言の際には必ずマイクをご使用ください。

また、会議中、体調が優れないようなことがございましたら、遠慮なくおっしゃってください。

次に、条例第8条において、市議員は「区政会議における議論に資するために必要な助言をすることができる」と規定されており、本日は西議員にご出席いただいておりますことをご報告いたします。

本日の会議時間は1時間程度で、午後8時頃の終了を予定しております。時間内で活発な意見交換が行われ、会議を効率よく進めることができるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

傍聴される方におかれましては、受付時にお渡しいたしました傍聴要領の第2条「傍聴者の遵守事項」を守り、会議中はお静かに傍聴していただきますようお願いいたします。

それでは、会議に入る前に、先週開催されました各部会での主な内容を簡単にご報告いただきたいと思います。

資料⑤部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方を併せてご覧ください。皆様、資料のほうはお手元を見ていただいておりますでしょうか。

それでは、まず、こども青少年部会からお願いいたします。

○染矢委員　こども青少年部会、染矢です。6月26日開催の当部会での意見などを報告いたします。

1点目が、「人権課題について、区政モニターアンケートで満足や納得している課題とそうでない課題は何か教えてほしい」の質問に対して、区政モニターの結果によれば、人権啓発事業は役立っていると理解されているが、一人一人の人権が尊重されているまちであるかについては、目標より低い回答結果となっています。課題別の結果については調べた上で、分かればお示ししますと答えられました。

2点目が、外国からの流入者が多い中、やり取りにポケトークやアプリなどのツールが有効だが、区役所としてどのように活用しているのかの質問に対し、地域で暮らす外国人の方や地域の方に使い方を覚えてもらい、避難訓練に生かすなど、様々な使い方が考えられる。予算の兼ね合いもあるが、いろいろ調べていきたいと答えられました。

3点目は、港区PTA協議会から、学校配置適正化の関係で対象校のPTAと区役所との意見交換会の報告があり、自分の子どもたちの在校中に実現しないことも問題、早く案を示してほしいこと、また、今後入学してくる子どもたちが統合案の情報を基に選べるようお願いしたいとの発言がありました。これに対し、夏休みに予定している説明会では、保護者、未就学児の保護者を含め、幅広く意見を伺っていきたい。学校適正配置の課題は、児童生徒の数だけではなく、教員不足も大きな課題で、単学級で隣のクラスがなく、先輩教員から教えてもらうOJTができずに若い教員を育成できなくなっている。学校再編に反対の方もおられるが、再編の必要性の裏側にはこうした教員の状況を知っていただきたく、そうした視点からもご理解いただきたいと答えられました。

最後に、学校園における働き方改革の中に部活動指導の負担とあるが、最近では学校の部活動だけではなく、外部のクラブチームが増えている。港区でも部活動がない中学校もあるので、区内にクラブチームをつくるなどの取組についてお聞きしたいの質問に対し、文部科学省では、中学校の部活動の地域移行が検討されている。教育委員会では、文科省から示されている具体的な方針を踏まえて具体的に検討していくこととしているが、まだそこまで至ってはいない。クラブチームについても方針にのっとり、部活動の地域移行と一体的に検討する必要があると考えていると答えられました。

こども青少年部会からの報告は以上です。

○前田総合政策担当課長代理　ありがとうございました。

では、続きまして、防災・防犯部会からお願いいたします。

○穴吹委員　こんばんは。防災・防犯部会の穴吹です。よろしくお願いします。

まず、先週の6月28日の水曜日に防災・防犯部会を開催いたしました。

まず、昨年度の施策・事業の評価について、区役所からの説明に対し、委員からは、今までにないぐらいの活発な意見が出ました。

まず、詐欺に関することや防災訓練の実施状況について質問がありました。

詐欺に関しては、委員から、地域に発生した詐欺の事例紹介と、そういったケースでの対応策に関する質問があり、区役所からは、少しでも怪しいと感じたら、まず警察もしくは区役所へ相談することや、クーリングオフ制度の活用として消費者センターへ相談するように回答がありました。

また、オブザーバー参加の港警察より、詐欺の発生状況として、サポート詐欺が多く発生しているという傾向があると回答がありました。

防災訓練の実施状況については、コロナ禍で行動制限のある中、地域で実施した事例を幾つか紹介いただきました。

次に、事前に委員へ意見照会のあった自転車ヘルメットの着用の広報啓発に効果的な取組について、おしゃれなヘルメットをかぶった人をモデルとした広報やヘルメットの選び方など、着用率アップに向けて活発な意見交換ができました。

情報提供資料にあった個別避難計画の作成については、様式を簡略化、聞き取り項目を必要最低限にするなど、改善を加えながら昨年度から取組を進めているところであり、今年度以降も地域のご理解、ご協力をいただきながら、幾つかの地域へ展開していくと説明がありました。

防災に関しては、防災スピーカーでのお知らせ基準や台風時における事前の避難所開設基準などについて質問がありました。それに対して区役所からは、お知らせについては、警戒レベル3で防災スピーカーのほかホームページなどの媒体でお知らせすること、避難所開設基準については、台風時における事前の自主的な基準はないが、その時々状況判断により、区役所から地域に依頼して地域集会所を開放したケースもあるとの回答がありました。

また、委員から、地域や事業施設の横のつながりや顔の見える関係性をつくっていく取組として、防災マルシェの企画依頼や福祉施設での地域との交流イベントの活動の紹介がありました。区役所からは、防災マルシェは12月に開催予定、福祉施設でのイベントなどについても、情報連携の上、実施可能な取組について検討したいとの回答をいただきました。

防災・防犯部会からの報告は以上です。

○前田総合政策担当課長代理 ありがとうございます。

それでは、最後に福祉部会からお願いいたします。

○讚井委員 福祉部会の讚井です。よろしくお願いします。

福祉部会の内容についてですけれども、部会では、令和4年度の施策・事業の評価についてと、児童生徒と子育て家庭のための福祉いろいろガイドブックの作成についての報告がありました。

その中で出された意見ですが、別紙の部会が出された主な意見と区役所の対応・考え方の福祉部会の1番をご覧ください。認知症啓発についてですが、認知症の福祉教育に取り組んでいる学校はまだまだ少ないように思いますが、中学校などの若年層に向けて啓発することで、その後、家庭にも伝わるなど、非常に有効なことだと考えていますので、区社協としても普及に取り組みますから区役所にも協力を依頼しますとのお話がありました。こちらについてはご意見だけの形でした。

次に、2番目のご意見ですが、子どもの居場所事業には、小学校にしか周知していませんが、未就学の子どもや地域外の人にも来られます。その中で気になる子どもたちを見かけることもあり、支援・相談について行政とどう連携すればよいかというご意見がありました。区役所からは、コロナの影響で中止していた事業も徐々に再開しており、多くの方が参加できるよう効果的な周知を検討するというのと、気になる家庭や児童がおられたら、子育て支援室に相談・ご連絡をいただければ連携を図っていきますとの回答がありました。

また、4番目の福祉いろいろガイドブックについてですが、いろいろな情報が掲載されて非常にいいものだと思いますが、実際に生活に困っておられる方がこのガイドブックの情報にたどり着いて活用できるものかというご意見がありました。区役所としては、今回のガイドブックを発行した目的として、まず、学校関係者や支援者にその情報を知ってほしい。そして、支援者にこの情報を知っていただくことをきっかけとして、困っている方々に情報が届くように改良を加えていくという回答をいただいております。

以上、簡単ですが、報告させていただきました。

○前田総合政策担当課長代理 ありがとうございます。

それでは、以降の議事につきましては、讚井議長、議事進行をよろしくお願いいたします。

○讚井議長 こんばんは。それでは、議長として進行役を務めさせていただきます讚井です。よろしくお願いします。

区民の意見やニーズを区政に反映していくこの区政会議に、積極的にご意見をいただきました

と思いますので、ウェブで参加されている委員の方も含めて、皆さんのご協力をお願いいたしたいと思います。先ほども区長がおっしゃられていたように、皆さんの一言が大事やと思いますので、後でよろしくお願ひします。

それでは、議題に入ります。

議題1、令和4年度の施策・事業の評価について、議題2、その他について、併せて区役所のほうから説明をお願いします。

説明の後、一括して委員の皆様からのご意見やご質問をいただきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

○五十嵐総合政策担当課長 総合政策担当課長の五十嵐です。どうぞよろしくお願ひいたします。座って説明をさせていただきます。

議題1、令和4年度の施策・事業の評価について。

事前配付資料A、令和4年度運営方針自己評価の概要版をご覧ください。

こちらにつきましては、事前に内容のご確認をお願いしておりまして、また、各部会でも議論をいただいておりますので、議論のなかった部分について簡潔に説明させていただきます。

11ページをご覧ください。

経営課題5、訪れたい魅力と活気あふれるまちづくりについてです。

公民連携事業でありますチャレンジポート事業で、「大阪万博への来場者に港区で楽しんでもらうには」というテーマで昨年度意見募集をし、三先小学校6年生のコスプレイベントを採用しました。ただし、コロナ禍の影響もありまして、イベントの開催には至りませんでした。

今後、改善策としまして、これまでに採用されたチャレンジポート事業の中には、試作段階のものや改良の余地のあるものがまだまだございます。こういったものを改良することと、昨年度採用されたコスプレイベントを、ともに万博までにイベントの実施などをしていきたいと考えています。

次に、13ページをご覧ください。

経営課題6、区民意見を反映した区政運営についてです。

区の広聴では、様々なツールを活用し、多様な区民の意見・ニーズの的確な把握に努めましたが、区民アンケートで「区役所が様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると思う」と回答した割合が、60%以上を目指しましたが、残念ながら目標達成には至りま

せんでした。

同じく区の広報でも、様々なツールを活用し、区政情報の積極的な発信に努めましたが、区民アンケートで、「区の様々な取組について行っている情報発信により、必要なときに必要な情報が届いていると思う」と回答のあった割合が、60%以上の目標達成には至りませんでした。

改善策としまして、これから新たな広聴・広報ツールの検討を行うとともに、今ある媒体を魅力あるものにさらにしまして、積極的な広聴・広報に取り組んでまいりたいと考えています。

続きまして、議題2、その他につきましてです。

まず、事前意見内容と区役所の対応・考え方について、当日配付資料⑥-1をご覧ください。

事前意見として、最近引っ越しをされてこられた外国人家族の方がごみの出し方を知らず、仕事前に出されることで、カラスに荒らされ、それを地域住民の方が清掃している。ごみの出し方を外国語で作成できないかというものでございました。防災・防犯部会でもご意見がありました。一部回答したのですけれども、大阪市環境局に確認をしましたところ、「ごみのマナーABC」というものを日本語のほか、英語、中国語、韓国語、ベトナム語で作成していますが、あくまでもごみの出し方のマナーであって、カラスの対策に特化したものではございませんでした。

そこで、1枚つけておりますが、「すぐできる！からす対策ひと工夫」というのが、これも環境局から出ておまして、ただこれが日本語しかありません。最近では民間の機械翻訳サービスがありますので、自動的に翻訳することが可能ですので、こちらをその方に合った言語に機械的に翻訳をしていただいで、日頃からコミュニケーションを取ることで、まちぐるみでごみの啓発をしていただければということでもございました。

なお、ご不明な点は、個別に相談に応じてくれるということですので、管轄をしております西部環境事業センターへお問合せをいただきたいということです。

続きまして、特にご意見を求めたい内容に対する委員からのご意見及び区役所の対応・考え方についてです。

当日配付資料⑦をご覧ください。A3の縦長のものです。こちらの1番と2番についてご説明をさせていただきます。

番号1については、区役所より、令和7年4月1日に区制100周年を迎えるに当たり、区民の皆様と協働で何かをつくり上げるアイデアについてご意見を求めたところ、委員からのご

意見として、港区内の飲食店・地域団体と共に出席し、誰でも参加できるフードイベントなどを開催、その参加者を中心に、港区の好きなところの巨大寄せ書きを作成、区役所などで展示し、作品を残してはというご意見。また、各地域の名所や各種団体・企業など、港区での活躍や魅力をアピールする動画を作成、区の魅力を知ってもらうことで、住みたいまち、訪れたいまちへとつなげるというご意見。また、万博と同時期であることから、多くの方が参加できる大きなイベントの企画といったご意見をいただきました。

これに対し、区役所の対応・考え方としましては、区制100周年が万博開催年であることから、国内外からの来阪者の方にも気軽に参加してもらえよう、万博の開催意義の一つでもありますSDGsとも絡ませられるような区民主体のイベントの開催の検討をしたいと考えています。どうぞご協力をよろしく願いいたします。

次に、番号2について、エリア開発担当より説明をさせていただきます。

○細江エリア開発推進担当課長 エリア開発推進担当課長の細江です。

2番目の意見を求める内容につきましてご説明させていただきます。

当担当としましては、港区プレイスメイキング事業ということで、地域団体や区民の皆様が公園などの公共空間を活用した万博の機運醸成であるとかSDGs意識向上に資するイベントなどの取組についての支援をする取組を行うこととしております。その中で地域団体とか区民の皆様がこういうイベント等を一緒にするにあたり、区に期待する役割や必要な支援等についてご意見をいただきたいということでご意見をまとめさせていただきました。

委員の方からのご意見としましては、どんな方でも参加できるよう各イベントの開催時にはバリアフリー化や手話通訳者の配置など、様々な方に配慮いただけるサポート体制があることを期待していますといったご意見をいただいたところです。

区役所の考え方としましては、プレイスメイキング事業としては、今年度は国産木材を活用した椅子とかテーブルを作成しまして、それを今後のイベントに活用していただくようなイベント実施のルール構築とかワークショップの開催などを委託業務で実施する予定としておるところです。いただきましたご意見につきましては、委託業務の中の仕様に反映しまして、ワークショップであるとか今後のイベント実施のルールの中にも盛り込みまして、どなたでも参加可能な体制を構築していきたいと考えております。

続きまして、2点目としまして、既存の区民まつりや地域の夏祭りなどを特別に拡大して、区民だけでなく他地区や観光客も参加してもらえよう、万博の開催意義の一つでもありますSDGsとも絡ませられるような区民主体のイベントの開催の検討をしたいと考えています。どうぞご協力をよろしく願いいたします。

ペースでまとまって行うことも検討していただきたいといったご意見をいただきました。

コロナ禍でこの間中止されていた取組も、現在、再開されていく予定ということで、区としましても、万博開催への機運をより一層盛り上げていくための区民まつりをはじめとした地域イベントにつきましても、イベントの主催者と連携しながら、港区万博として万博への機運醸成、関心を高めていただくとともに、港区の魅力のPRなどにも取り組んでいきたいと考えております。

今年度の健康月間につきましても、関係会議を開催しまして、感染対策も注視しながら、安全で確実な取組を企画検討しているところです。その中でも万博の機運醸成や港区のPRなども併せて検討してまいります。

以上です。

○讚井議長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明に対するご意見やご質問を賜りたいと思いますが、どなたかございませんでしょうか。ウェブ参加の方もよろしくをお願いします。

○ヴィダル委員 すみません、こども青少年部会のヴィダルと申します。よろしくお願いします。

経営課題6の区民意見を反映した区政運営の中で、区政情報の積極的な発信ということで、ホームページをはじめ、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブとSNSをかなり駆使していらっしゃるなというのを拝見したんですけども、私も個人的にフェイスブックとかユーチューブ、あとはインスタグラムとかをする中の一人なんですけれども、つくっていらっしゃるのをあまり見ることがない。上がってくる回数も含まれているとは思んですけども、例えばその作成においてつくられる方、例えば自治体によってはSNSを非常に得意となさる方をその業務にだけ携わっていただいて、より若者とか、あと一般のお父さん、お母さんとか、広く見ていただけるようにという形で、人気が出ると言ったら非常に語弊があるんですけども、目に留めていただきやすい、見よう、次更新されているかなというふうに興味を持っていただけるような作成に取り組まれているのか、それとも行政に関わっていらっしゃる、常にいらっしゃる方がいろいろ工夫を凝らした上でつくられているのか、お聞きできればと思います。

○山口区長 私が一番分かっているので答えます。それぞれ担当課で発信をしているので、子育て支援なら子育て支援とか、あとマイナンバーカードのことは住民情報とか、あと、防災なんかいろいろ工夫して頑張っって発信していたりするんですけども、基本はそれぞれの

課でできるだけ発信をするように、特に今年度からはまた担当も頑張ってくれて、何か毎日一ネタ何かしらという。ただ行政なので、ちゃんと決裁とか回してたりする。なんかちょっと堅いところはまだまだありますので、ほぐしていきたいとは思っています。

やっぱり1人の担当にすると、そこまでの人員が割けないという現状もありますのと、あまりフェイスブックはそんなに効果がないかなというところもありまして、今、公式ツイッターと、ユーチューブは動画ができたときは上げるんですけども、あと教育だけはこれから各学校でいろんな取組をやっていったりとか、学校再編に関するこういった説明会の情報発信もしないといけないので、別立てでもう一つツイッターをつくったところなので、ぜひともフォローをお願いしたいと思います。フォロー、拡散、ご協力よろしく願いいたします。

このチラシ（学校再編（学校適正配置）に向けた説明会のお知らせ）の端っこにQRコードがあります。

○五十嵐総合政策担当課長 追加ですが、SNSだけではなくて、チラシもやっぱり役所チックなものがこれまで多かったので、それをちょっと改善しようということで、ACワークスという会社と業務提携をいたしまして、この4月に結びまして、いろいろなチラシのひな形を作っていて、それを、文字を入れ替えたりとかするだけで簡単にチラシを作れるようにということで、この「みなと未来基金」のチラシもそうなんです。ひな形を作っていて、うちのほうで字だけを入れ替えたというような、そんな感じで作らせていただいています。

あと、エレベーターに乗ってこられたと思うんですが、エレベーターの中にある広告とか、ああいうのも実はACワークスさんで作っていただいたりしています。

○讚井議長 ありがとうございます。よろしいですか。

ほか、ご意見やご質問。

○穴吹委員 すみません、防犯の穴吹です。

令和7年度に港区の区政100周年ということを書いてあるんですけども、ちょうど70周年のときに、私、田中のPTAの会長をしておって、御堂筋パレードに出たんですよ、みこし担いで、港区政70周年で。テレビ大阪が横につきっきりで。ちょうど私、そのとき、みこしの下に入っていつも映らなかったんですけども、そういったあれがあったもので、ちょうど25年といえば万博の年ですよ。そういうイベントもいろいろとあると思うので、ぜひそこに何か、100周年の比如说かなりPRになるんじゃないかなと思うんですけども。

○山口区長 ご意見ありがとうございます。何かしてそういうのをねじ込みたいと思います。御堂筋パレードの話、聞いてなかった、知らなかったので、私が。そんなことしていたんだということで、そんなチャンスがあるならどんどんいきたいと思いますので、またいろんなご提案、こんな機会があるよ、こんなのもうみたいなのをまた区民の方からもいただいて。あと若い人にもぜひ知ってほしいので、区内の高校とか中学生とか小学生とかにも、何か区制100周年になるから100周年の港区の誕生日をお祝いするのは何かいいアイデアないかなみたいなこととかも聞いてみたいと思います。ありがとうございます。

○讚井議長 ありがとうございます。

ほか、何かご意見等……

○穴吹委員 すみません、あと一つ。さっき、カラスの問題で海外の人のマナーが悪いとかいう話もありましたけれども、ちょっと私、今年事情があって、3月から4月、5月と結構東京のほうへずっとおって生活しておって、ごみを出していたんですよ。それできたら、またこの大阪の普通の人のマナーも悪いですね。多分ペットボトルというのは、普通キャップとシールと分けて出しますよね。そうして出される方も多いと思うんですけども、向こうでは本当にペットボトルは真っ白ばかりですね。缶とは一緒に入っていない。ダンボールも、必ずピンとかシールとかは全部剥がして、そろえてひもでくくると。全部が全部はそうしていませんけれども、東京はすごかったです。

ごみを出すところも、大阪やったら家の前、前というの、角、角にちゃんと区のシートみたいなブルーのシートが置いてあって、いついつ何と書いてあって、必ずそこに捨てましたね。ちなみに港区じゃなくて大田区でしたけれども。

○山口区長 ありがとうございます。ほかのまちから来てびっくりさせることのないようにというのと、やはり周りに影響されると思うんです。だから、やっぱりちゃんとやる人が増えていくということはすごく大事なことで、ぜひ率先してやっていただきたいのと、しっかり啓発を頑張っていきたいと思います。ご意見ありがとうございます。

○讚井議長 またご質問等あれば、後で皆さんから一言ずつ伺いますので。

続きまして、情報提供資料について、区役所から説明をお願いします。

○五十嵐総合政策担当課長 本日の情報提供資料で、まず、大阪市防災アプリのチラシについてご覧ください。

○西堂協働まちづくり推進課長 協働まちづくり推進課長の西堂でございます。私のほうから、大阪市防災アプリについてご紹介させていただきます。

この大阪市防災アプリにつきましては、先月にリニューアルされたところでございます。避難所情報や気象情報などが発令されると、警戒レベルに応じてトップ画面のアイコンの色が変化して通知されたり、また、雨雲レーダーがリアルタイムで表示されたり、15時間先までの降雨予測や台風の進路予測なども閲覧できる機能が新たに導入されております。また、家族構成に合わせた1週間分の備蓄品が確認できたり、防災マップの機能も充実し、新たにJアラートによる緊急情報の発信時に、弾道ミサイル攻撃等から身を守るための場所が表示されるようになっております。

このアプリにつきましては、日本語以外の言語にも対応しており、外国人の方にもご利用いただけます。ぜひダウンロードしていただきまして日頃からご利用いただき、いざというときに備えていただければというふうに思っております。周りの方にもぜひお伝えいただきまして、このアプリをご活用いただければと思います。

私のほうからは以上です。

○吉野総務課長 続きまして、総務課長の吉野でございます。私の方からは、こちらの「みなと未来基金」についてご説明させていただきます。

冒頭区長からもありましたけれども、港区の福祉・教育やまちづくりに活用するために寄附を募集しております。頂いたご寄附は、区のまちづくりに大切に活用させていただきます。

このチラシにありますように、インターネットからでもお気軽にさせていただきますし、ふるさと寄附金に係る税制上の優遇措置もございますので、ぜひご協力いただけると幸いです。ご関心のある方は、お気軽に区役所総務課までお問い合わせくださいませ。

以上でございます。

○前田総合政策担当課長代理 情報提供の途中ではございますが、ただいま藤田議員のほうがお越しいただきましたのでご紹介させていただきます。

○藤田議員 すみません、遅くなりました。よろしくお願いいたします。

○五十嵐総合政策担当課長 では、次に、弁天町駅前昇降設備の工事です。

○細江エリア開発推進担当課長 エリア開発推進担当課長の細江です。弁天町駅前昇降設備工事のお知らせについて、情報提供のほうをさせていただきます。

防災・防犯部会のほうでも周知させていただいたいたいですけれども、この全体会でも改めてご案内させていただきます。

弁天町駅前交差点の国道43号線の横断地下道のエレベーター工事ですが、この間、非常に皆様も待ちに待ったところかと存じますが、いよいよ北側のほうから、まずは駅側のほうか

ら本体工事のほうへ入るということで、工期のほうがもう7月1日からということでは始まっているんですけども、令和6年度末までの予定とは聞いているんですけども、ちょっと少し時間はかかるんですけども、まずは北側のほうから工事着手、引き続きまして南側の中央病院側のほうの第一地下道のほうも順次工事発注に向けて、今準備を進めていると聞いているところでございます。

工事のほうは主に夜間工事ということで、夜の10時から朝の6時にかけてということで、工事期間中は歩道のほうが通れない時間帯がどうしても出てくるということで、少し南北の移動に迂回いただく必要があるということなんですけれども、基本的に日中は普通に歩道のほうを通っていただけると聞いておるところでございます。

工事の中でどうしても地下道を通れないタイミングもあるということですが、その際はちょっと南側の第一地下道のほうに迂回していただくということも生じますが、あまり全工期にわたって、全地下道が通れない期間というのはそんなにはないと聞いているんですけども、何か工事のほうでお気づきの点とかありましたら、お問合せの発注者の国土交通省のほう、もしくは受注者の井上工業のほうの連絡先も記載していますので、こちらのほうにご連絡いただければと存じます。

説明としては以上になります。

○五十嵐総合政策担当課長 続きまして、万博開催に向けた市内全域での路上喫煙禁止へのご協力の依頼についてです。

大阪・関西万博の開催年である令和7年1月を目標に、大阪市内全域での路上喫煙を禁止するために、現在手続を進めています。これに伴いまして、喫煙者対策として、市内に新たに120か所の喫煙所を設置することになりました。港区では最低3か所設置することになっています。

設置基準案では、乗降客数の多い駅周辺や人流・回遊性の多い地域などで、望まない受動喫煙や市民の安全・安心と快適な生活環境、ポイ捨てによるまちの美化が損なわれるおそれのある地域に設置することとしておりまして、港区では、弁天町駅周辺と朝潮橋・八幡屋公園周辺、大阪港・天保山周辺の3か所を候補地として挙げていましたが、面積要件などもございまして、環境局の判断で、このたび八幡屋公園内の候補地1か所が今年度中の設置場所を選定をされました。

一緒につけています3枚目の紙に場所は記載していますけれども、朝潮橋の駅から中央体育館のほうに歩いていきました公園の南入り口というところで、トイレの近くのところにな

ります、そちらに1か所造ることになりました。タイプの的には、2枚目の写真にあります屋外閉鎖型というもので、完全に囲われた建物です。フィルターを通して空気の循環を行いますので、外に匂いや煙が漏れることはないと聞いています。

スケジュール的には、7月中に入札が行われまして、業者が決まり次第工事が始まる、着工するというのを聞いています。今年度中の完成ということ聞いています。

落選をしました棄天町駅周辺と、それから大阪港・天保山周辺については、また新たに今探しているところです。

ご報告をさせていただきます。

最後に、学校再編の関係です。

○早川教育担当課長 先ほど山口区長からもお話がありましたが、このチラシのほうをご覧ください。

下に学校の配置図があるんですけども、小学校については、港晴小学校、八幡屋小学校、池島小学校、築港小学校が、ここ数年、全学年単学級になっているという状況です。また、築港中学も全学年単学級で、港中学についても小規模校ということになっていて、学校再編の必要性というのが課題になっています。

先ほど区長からもありましたとおり、この案でいくという決定した内容を説明するというのではなくて、意見をお伺いするということになっていきますので、今在学中のお子さんがおられる方や未就学の方がおられるご家庭の方、ぜひご参加ください。よろしくお願ひします。

○五十嵐総合政策担当課長 以上です。

○讚井議長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明と、これまでの議題以外でも構いませんので、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

○平井委員 こんばんは。お世話になっております。こども青少年部会の平井でございます。

最後に説明のありました学校再編のことに關しまして、少しお尋ねできればと思っております。

何度もPTA向けの説明会は各単位でしていただきまして、いろんなご意見を聞いていただきましてありがとうございました。また、今後行われるのは地域も合わせてということでは聞いているんですけども、この中で一応のガイドラインというか案を区役所様のほうからご提示をいただいているのがあると思うんですが、こちらのほうが実際、一時しのぎ的な

対応にならないのかどうかという心配のほうがございまして、特に築港地域と、あとは港中学校という部分を統廃合したときに、果たしてこれがある程度長期的に見て適正な配置としていけるのかどうかということの心配があるのが一つと、あとはまだいろんな地域からも意見が出ていると思うんですが、廃校になった後の学校の使用方法、こちらの案もある程度お持ちであれば教えていただければということも思っております。

単に数合わせ、人数合わせという部分の再編ではなく、常に区長もおっしゃっておられますような一人も取りこぼさないというような形での、子どもたちが本当に安心して通っていけるような学校再編、そしてまた、地域の活性化につながるような学校再編をぜひとも願っていますので、こちらのほう、よろしく願いいたします。

○山口区長 ご意見ありがとうございます。

まず、実を言うと、築港中学校、港中学校、2つ合わせても300人程度ということで、これが将来的に持続可能かというご意見は既にいただいているところです。そうは言いながら、やはり再編するときというのは、鶏が先か卵が先かみたいな話で、子どもをまず増やすのが先だろうというご意見もよく聞きます。ただ、まちづくりをして子どもを増やすというのに時間がかかる中で、どんどんと学校がしんどくなっていく。まずは学校再編、必要な適正な規模にして、そこにしっかりと教育投資をしていい学校をつくり、その周りのまちづくりも一緒にやって何とかみんなで子どもを増やそうぜという、何かそういう思いで一緒に取り組んでいくものだと思いますので、どの形でというのはまだ説明会での話になると思うのですけれども、やる以上はその校区に子どもたちを増やすという思いでやりたいとも思っていますし、そういう予測でいきますと、分からないのです。実際やってみて本当に増えなかったら、確かにまた10年後とかに考えなければならないかもしれないのですけれども、一旦は複数クラスが成立する状況にして、あと、ちょっと工事の期間が非常に、2024年問題というのがありまして、建築とか、全てにおいてなんですけれども、働き方改革が入ることで、昔であれば数年でできた学校適正配置というか校舎の建築が非常に時間がかかるようになっているので、まずは全体像、もう一つ大規模な再編となると恐ろしく時間がかかっている間にしんどくなってる、クラス替えできないままの学校がずっと持続してしまうというのは、ちょっと課題かなとは思っています。

あと、まちづくりに関しては、当然ですけれども、学校の跡地、何とか、防災上の観点からいっても、今は借地にして残すという方法があります。生野区で学校の適正配置、幾つかやってきたんですけれども、実際に跡地を地域の方と話し合っ、こんな使い方をしたい、

例えばお祭りは絶対やりたいんだとか避難所は絶対約束してほしいとか、そういった条件を聞いた上で事業者を募集して、もう実際に稼働し始めています。そういった事例もありますので、何とか地域の方と対話しながら学校跡地も残し、また活性化につながるような方法で活用できたらなとは思っています。

私からは以上です。

○讚井議長 ありがとうございます。

ちょっと一つお聞きしたいんですけども、学校再編というのは区が主導になるんですか。市の教育委員会が主導になるということではないんですか。

○山口区長 本来は、小学校は学校活性化条例というのがありまして、それが令和2年に、全て2クラス以上にはなるように、なるべく早く学校適正配置をするようにという条例がありますので、それに従って、区担当教育次長という立場でもあるので、市教育委員会と一緒に案をつくるということで。計画をつくって、教育委員会がそれを承認し、また、議会なども通って最終的に決まるということになります。

だから、区が主導かと言われたら、区がある程度は地域状況とか、いろんな皆さんの声も反映しながらつくっていくんですけども、大枠は、私で何かできるものではないです。すみません。

○讚井議長 ありがとうございます。

ほか、ご意見等ございませんでしょうか。

○加藤副議長 すみません、加藤と申します。

ちょっと別でと思っていたこともあるんですが、今、学校再編のお話がある中で地域づくりというお話もあって、何度かお願いをしているように、やはり学校と地域の活動って結構切っても切れないものがあると思いますし、子どもたちを地域で見守るということと学校との連携というのが非常にあると思います。そして、港区では、小地域ごとの地域福祉活動を盛んに行っているというところもありますので、そのあたりへの影響というのも十分に配慮しながら進めていただくのをお願いしたいなということを1点思いました。よろしく願いいたします。

○山口区長 ご意見ありがとうございます。

○讚井議長 それでは、ちょっと皆さんから、今日ご発言いただいている方から一言ずつちょっとお聞きしたいと思いますので、井本委員さん、いいでしょうか。

○井本委員 港晴地域の井本です。よろしく願いいたします。

この前の分科会のお話したんですけれども、やっぱり中学校が少ない、港晴地域は特に港晴小学校があって築港中学校が少なかったというので、子どもがもう卒業していますけれども、もう10年以上前からこの課題はずっと言われ続けてきて、いつになったらなるんだろうというのを思いつつ、もう卒業してしまって下の子が大学生になってしまったんですけれども、こういうふうにごく細かく話が出てきているなということに、やっと動いてくれはったんやなという気持ちでいます。

港晴地域なんか古い地域ですので、地域のおっちゃんとかに聞くと、地域から学校はなくしたくないと皆さんおっしゃるんですけれども、そこなのか、子どものためなのかというのをちょっと大人で考えてあげてほしいなというのは常に思いますので、よろしく願います。

○讃井議長 ありがとうございます。

続いて山岸委員、願います。

○山岸委員 山岸です。私も最後にお話を伺いました学校の再編成のことで、防災のほうの部会のお話には述べさせていただきましたが、やはり地域に1つ小学校があるということは、そこはやはり避難所にもなりますので、廃校にもなった場合でしたら、何とか活用法、第一に、いざというときのそういう避難所になるという形で、何とか小学校の活用方法を考えていただきたいなと思います。

でも、やはり先ほどどなたかおっしゃったように、やっぱり子どもたちのことを思うと、子どもたちの学校という意味では、廃校も仕方がないのかなと思いますけれども、建物的にはぜひいいように防災のほうで活用できればいいなと思っています。

あと、この2年間の間ですごくいろんな、自分自身、知識が増えたのでよかったなと思っています。

以上です。ありがとうございます。

○讃井議長 ありがとうございます。

じゃ、続いていってください。

○北山委員 防災・防犯部会の北山です。私がお話をお伺いしていて、いろいろ考えていたことがちょっと一つあって、防災・防犯部会の中で、ヘルメットの着用の中で委員の皆様とちょっとだけお話が盛り上がったシーンがあったんです。単純に考えたときに、おしゃれな自転車ヘルメットって何やろうって。ちょっと根本的に考えたときに、ヘルメットにおしゃれはちょっときついなというのもあり、ヘルメットを着用していきましょうという根拠が

やっぱり命だったり、本当に大切なものを守ることが前提にあるので、堅くするのはなく、本当に例えばなんですけれども、私が考えていたのが、今結構レトロとか昔のファッションって、令和の時代、結構若い子の間でもはやっているんですね。何か昔、釣りでおじ様が着てはったポッケいっぱいあるジャケットが、今やもうファストファッションブランドの一番前のマネキンを飾るぐらいのアイテムになっていたりとかもするので、ヘルメットという形にこだわらず、もちろんお伺いしたとおり、造りとか頑丈性って大事というお話をいただいていたのはあるんですけれども、その素材は担保しつつ、例えば何かかわいい麦わら帽子みたいな夏用にするとか、ちょっとかわいい、分かんないですけれども、あるじゃないですか。何かそういうファッションに特化したようなのにするとかというようなちょっと飛んだ発想にまでしないと、どうも着きたいとは思わないというのがあるので、私も防災・防犯部会が終わって考えていたときに、いや、おしゃれなヘルメットってどんなのって、何があんねんって考えたときに、ちょっとそういったことが私のイメージの中であったので、ちょっとお話をさせていただけたらなということでした。

あと、もう少しヘルメットのお話でいいますと、結構感覚過敏というんですか、結構硬いものがぎゅっと頭を縛りつけるような感覚がちょっと嫌やったりとか、この素材はちょっと嫌やなって誰にでもあると思うんですけれども、なのでぜひ、これからそういうファッションですとか、そういったものを通じながら、どんな方でも着けられるような素材というのも着目して、いろいろ作っていただけたら、何かすごいいろんな方がかぶれるというのになるんじゃないかなと思いました。すみません、ちょっと長々と。ありがとうございます。

○讃井議長 ありがとうございます。

お願いします。

○池西委員 福祉部会の池西です。2年間どうもありがとうございました。いろいろ勉強させていただいて、知らないことがいっぱい身についたような気がします。

それで、今おっしゃっていたヘルメットですけれども、私も年いってるんでもう早速買ったんですが、ヤフーとかアマゾンですか、ああいうところで息子に見てもらったんですけれども、意外と外から見たら普通の帽子のように見えます。中がちょっと硬い、ちょっと私が見たらちゃちいかなと思うんですけれども、中はヘルメットの形になっていて、外がちょっと女性的な、前のあるのを買ったんですけれども、意外とよかったかなと思っています。

ですからあの人みたい、キャップ、野球帽みたいな、ああいう形のもかぶっておられるのを見て、いいなとは思ったんですけれども、また参考にどうぞ。ありがとうございました。

○武内委員 磯路地域福祉部会の武内です。今日も午前中に高齢者の配食サービスと、お昼からは市岡中学校内の居場所づくりに参加しまして、明日も子育てサロンがあるんですけども、地域の人に笹を育ててもらっていて、今日と明日の事業のためにずっと大きくしてもらっていて、今日は参加の皆さんに本物の笹に七夕飾りを作ってもらいました。ずっとできなかった行事とかもあって、いろんな行事が全部再開して行って、皆さん、地域、それだけじゃなくてほかの地域の方も来られるんですけども、いろんな行事を広報してもらって、皆さんが来られていて、いろんなところに来られるという、居場所があるということはすごくいいことだと思います。

この2年間、福祉部会に参加させてもらって、また全体部会に参加させてもらって、ちょっと分からない言葉とかあってどうしようかなと、片仮名とかちょっと分からない専門用語とかあってどうしようかなとか思うこともあったんですけども、まだまだ勉強が足りないなと思って、これからまた勉強していきたいと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました。

○讚井議長 ありがとうございます。

ウェブの参加委員の先生もお願いしたいんですけども、山田委員さんとか一言お願いできますか。

○山田委員 港区医師会の山田です。聞こえていますか。

私のほうから、路上喫煙の話がちょっとあったので、その辺の話で関連なんですけれども、今、受動喫煙というのはかなり皆さん浸透していると思うんです。それ以外に三次喫煙というのがあるのをちょっとご存知かなと思って。三次喫煙というのは、たばこを吸った人が吸い終わった肺にもまだ有害物がたまっていると。45分ぐらいたたないと消えていかない。吸った後にいろんなところの部屋に入って、そこで普通に呼吸しているだけでも受動喫煙みたいな形で、有害物をその周りにいてる人が吸うことになるんです。それを三次喫煙というんですけども、意外と皆さん、これは知らない方が多いんじゃないかなと。

特に家庭を持ってはる人で、ベランダでたばこを吸って、その後、部屋の中に戻ってくる。子どもがいてはるから外でたばこを吸って部屋の中に戻ってというのはよく聞かれるんですけども、それですぐ入ってしまうと、やっぱり吐いている息の中にいっぱい有害物質が排気に回っているので、子どもにはかなり有害なことが多いというふうなことがあるので、今後はまたこういう三次喫煙についての対策が必要になってくるんじゃないかなと。特にエレベーターの中とかというのは一般の中でもあることなので、今後こういうのが周知されて対

策をどんどん取っていくべきことなのかなと思って、ちょっと情報提供させていただきました。

○讚井議長 ありがとうございます。

続いて、牛島委員ですか、お願いできますか。

○牛島委員 ずっとリモート参加で申し訳ありませんでしたが、勉強させていただいてありがとうございました。

私は福祉部会のほうで参加させていただいていますので、今日は民生委員のほうの主任児童委員さんの港キッズが午前中あったんですが、そこに来られているお母さん方がとっても、34組でしたか、いいお母さん方と言うとあれですけれども、とっても楽しんでくださっているというのが伝わってくるし、前向きに子どもたちのことを考えて動いてはるということがよく分かるような雰囲気の家でした。できたら小学校、中学校のこれからの学校のことも、そういうお母さん方はヤングママのまだ学校には行っていないけれども次は学校に行くんだというお母さん方の意見も何かの形で吸い上げられたらいいなと思いました。

以上です。ありがとうございます。

○讚井議長 ありがとうございます。

ほか、ウェブは、高満委員ですかね。お願いします。

○高満委員 2年間ありがとうございました。こども青少年部会で参加させてもらっていたんですけども、うちの息子、今大学生なんですけれども、小学校のとき磯路小学校で、そのときもすごく人数が少なかったんですけども、ほかの学年の交流とかもたくさんあってすごく楽しそうに通っていたのもありまして、だから単学級が市政的に、区政的に駄目というわけじゃないと思うんですけども、単学級なりにいいところをもっと伸ばすというのか、生かしていった魅力づくりというのも、新しい、何だろう。子どもたちが通っていていいなと思うのが一番だと思うんですけども、大人が単学級がかわいそうとか駄目というのも、子どもたちに何か影響するのかなと思うと、単学級でもいいじゃないかと思いがらいつも聞いていたというところがありまして。

あと、参加させてもらう前と、今回任期が終わった後というのが全くぷつと切れてしまうのも、参加させてもらったときも、今の区政的にどういうことをされているのかというのをすごく理解するまで時間がかかったのと、あと、これ終わって次、新しくまた入られる方がいらっしゃったときにも、変化点というのか、何をやっていいのか、本当にもう1年ぐらいたってからやっと分かってきた気がしたので、何かそういうつながりみたいなのが、

区政会議が終わってからも分かるような何かがあればいいなと思っています。

以上です。ありがとうございました。

○讃井議長 ありがとうございました。いい意見でした。

続いて、田口委員、つながりますかね。

○田口委員 2年間ありがとうございました。

防災・防犯部会でさせていただいたんですけども、もともと、よこしまなんですけれども、仕事の絡みで福祉部会のほうに入りたいというふうに言っていたんですけども、防災・防犯になって、でも、逆に全然知らなかったことをたくさん知れたことと、ふだん当たり前に思っていることをこうやって区全体で支えて、地域のそういう防災・防犯について取り組まれているということを知れて、当たり前に思っていたことをやってくれているということをやっぱりちょっとみんなにも伝えていけたらなと思いました。

以上です。ありがとうございました。

○讃井議長 ありがとうございました。

中西委員さんですかね、お願いできますか。

○中西委員 こんばんは。中西です。私も小学校というか小中再編される、理解はするんですけども、単学級のよさというのに特化したものをつくってみて、大阪市という大きい都市の中でも、少ない人数でもこれだけのことができる、すごい勉強ができるというような1校を港区がつくるというような形で頑張ってみるというのはいかがかなというのと、あともう一つ、防災のほうで、八幡屋では外国人の方を招いて、防災アプリなどを使って防災訓練とかをしているので、またそれも何回も受けて、すぐに役立つ、防災にかかわらず、普通の生活の中でもすぐに使えるように、八幡屋としても頑張っていきたいと思います。

2年間ありがとうございました。

○讃井議長 ありがとうございました。

ほか、ご意見等々いいですか。染矢さん、いいですか、もう一言。

○染矢委員 すみません。私は港区PTA卒から2年1期、地域の三先から1期と2期連続で4年間させていただいたんですけども、とても勉強になりましたし、まだまだやっぱり途中で、途中でという言い方はおかしいんですけども、次男が中学校3年生になっていまして、今年受験で、もう来年は高校に上がります。学校編成のことも、何か私の中ではもう次男は地元の中学校から抜けて、今後新しい子どもたちのために考えていってもらうという案件に変わってしまうんですが、先ほどもちょっとご意見出ていましたけれども、何か結構

途中、自分の中ではもう途中で分からなくなってしまっていくのもちょっと寂しいなと思うので、また、何年か前に委員をされた方が集まって、この人たちのときはこういう話題が出ていたというような会がこの先あったらいいなというふうに思いました。とても勉強になった4年間でした。ありがとうございました。

○讚井議長 ありがとうございました。

ほか、言い足りない方、いないでしょうか。

ちょっと自分の感想を言わせてもらったら、この2年間、議長をさせてもらって、任期は2期4年させていただいたんですけれども、本当に最初は分からなかったんですけれども、だんだん港区のよさをもっとアピールしないといけないなと思ってはいます。

先ほど単学級がいいところもあるよという話なんですけれども、その一つですけれども、小学校で学校歯科医をやっているんですけれども、築港小学校の養護の先生がすごく歴代頑張ってくれていて、一日「歯の日」というふうなのをつくって、もう全学年、学校の授業を、1時間ずつですけれども、歯の授業をしましょうというのを、もうここ6年ぐらい続けているのかな、その一端をちょっと担っているんですけれども、もともと小学校は2年生と4年生と6年生というのが保健委員会から大阪市は全部やっているんですけれども、あと、そのほかのところもいろいろな歯磨き大会とか、あと校医の先生が来て独自にやっているとかがあって、その一つもさせてもらっているんですけれども、もう続けていて、本当に築港小学校はいいなとはすごく思っています。それができるのも単学級の魅力かなというのがあるので、いいところを伸ばしたらという先ほどのご意見、すごく共鳴しているというか、しているところではあるかなと思っています。

あと、いろいろな事業が進む中、もうすぐ交流センターができるんやろうなと思って見ているんですけれども、交流センターは交流センターという名前なんですか、あれは。

○細江エリア開発推進担当課長 仮称ということで、今は区画整理記念交流会館ということなんですけれども、区画整理の歴史を伝える施設ということもありますので、区画整理交流会館というところは生かしつつ、最終的にネーミングはまた皆さんといたしますか、地域の皆さんとも決めていけたらなと思っています。

○讚井議長 一応もう来年の……

○細江エリア開発推進担当課長 そうですね。来年の4月にオープンということで、そこは着実に工事も進んでいますので、また皆さん、もう使い倒していただける施設にできたらなと思っています。

○讚井議長　すごく楽しみにしていますし、あと、長年決まっていなかった市岡商業高校の跡はどうなるのかなというのが、この区政会議に参加している間に何か方向が決まってくれたらいいのになと思って、感じていました。本当にありがとうございました。

それでは、本日、市会議員の先生方にもご出席していただいているので、一言ずつお願いしたいので、西議員からお願いします。

○西議員　どうも皆さん、こんばんは。日頃から私たち大阪市会議員団、港区選出の議員団にお力添えをいただきまして、感謝申し上げる次第でございます。

また、本日は第1回ということではございますけれども、2年の任期ということで、このメンバーの皆様方にはこの2年間大変お世話になりました。また、ご足労をおかけしました。まずもって御礼、感謝申し上げます。大変にありがとうございました。

様々なご意見、またご提案等々も、行政共々私どもも拝聴させていただきまして、今後の糧にもしていかなければならないと思っております。

学校の再編、また港区の少子化、また人口減少課題等々、課題は山積ではございますけれども、今後も皆さんと共に、よりよい区政発展のためにしっかりと議員団、力を合わせて頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも何とぞよろしくお願いいいたします。本日は大変にありがとうございました。

○讚井議長　ありがとうございました。

続いて藤田議員、お願いします。

○藤田議員　冒頭ですけれども、ちょっと今日いろいろ会議が重なってしまっていて、遅くなりまして失礼をいたしました。

本当に皆様には2年、あるいは4年間、区政のためにいろいろとご意見をいただいて本当にありがとうございます。もう当たり障りないことを言うときはいいんですけれども、やっぱり性分なので、わざとあえて本音のところを言って、皆さんから賛否あるかと思うんですけれども、やっぱり学校再編は、これはやっていきたいなというふうには思っているんです。

先ほど単学級のほうがいい教育ができるというお話もあって、それも真実だと思います。一方で、やっぱり多様な意見に触れる機会とかが少なくなってしまうと、これは文科省のほうも言っていて、クラスの中で大体発言する子が固まってしまうとか、仲よしグループができればそれでずっと6年間いってしまうと新しい友達をつくる力が弱くなってしまうとか、いろんなことを総合的に加味して、今のところは一応2クラスで、クラス替えとかはで

きたほうがいだろうとか、そういう判断になっています。ただこれも今後の教育行政全体、日本を通じてですけれども、文科省のほうで、今は単学級のよさというのはあまり注目されていませんけれども、今後そういうふうな議論になってきたらまた変わる話かなと思っていて、今の状態ではやっぱり子どもの数が多いほうが子どもたちはいろんな学びができるよねということになっているので、これは進めていこうということで区役所も頑張っていたいでいるので、ぜひ、今日もいい意見いっぱい出ていたと思うんです。子どもたちのことと地域のことはちょっと分けて考えたいよねと。残せる機能はしっかり分離して残して行って、子どもたちの環境は子どもたちの環境でちゃんとつくっていくと、すごくいい意見だなと思って聞いていたんですけれども、そういう形でちょっと区役所のほうをバックアップしていただけたらなというふうに思っています。

本当に僕自身もちょっと反省がありまして、本来だったら前の筋原区長のときに進めておかなければいけなかったようなものを、さっきようやく手をつけていただいたというご意見もあったと思うんですけれども、それをちょっと今区役所のほうでも汗かいてやっていますので、ちょっと一部ではやっぱり急に進み始めた感があって、地域も戸惑っているんだという意見も聞いているので、やっぱりちょっと風当たりも強くなっている部分もあって。

ただそれはやっぱり、僕も自分の反省も含めて、ちょっと筋原さんのときにやっておかなあかんかったことを、今、山口さんが頑張ってくれているというふうに僕も見ていますので、また皆さんの中でも区役所のそういう声を聞いたら、区役所にももちろんそういうふうに伝えていただいて、区役所もやり方を考えていただきたいんですけれども、もしよかったら皆さんのほうでも、そういう流れでやっているのでもうちょっと区役所もいろいろ頑張っているんだよということを言ってあげていただけたらなというふうに思っております。

以上です。ありがとうございました。

○讚井議長 市会議員の先生方、ありがとうございました。

それでは、これで全ての議事が終了しました。本当に2年間、つたない議長で申し訳なかったです。皆さんの本当にご協力のおかげで議事が運営できたと思います。感謝しています。ありがとうございました。

それでは、区役所へお返しします。

○前田総合政策担当課長代理 讚井議長、委員の皆様、また市会議員の皆様、長時間ご協力いただきましてありがとうございました。

限られた時間での会議でしたので、十分にご発言いただけなかった皆様もいらっしゃると

思います。そちらにつきましては、当日配付資料8、港区区政会議に関するご意見シートのほうを入れさせていただいておりますので、何かございましたら、また後日、メール等でも結構ですので、ご提出いただきますと、今後の区政に反映していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、いただきましたご意見は、取りまとめまして、後日回答のほうもさせていただきたいと思っております。

また、本会議が現在の委員での最後の会議になります。2年間本当にありがとうございました。これまでいただきましたご意見等は、区政の運営に反映していくように努力してまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、最後に副区長の若林より閉会のご挨拶を申し上げます。

○山口区長 ちょっとだけ、一言最後に。

本当にいろいろな意見の中で、私、単学級の小学校の校長だったという立場でこの学校再編に、生野区長時代を合わせるともう7年目です、向かい合って。しかも息子は私が小学校の校長をやっていた学校に入っておりますので、実を言うと単学級の小学校の5年生をしています。先日その小学校に区長が来られて、2年生6人かな、1年生も7人、複式学級でも限界ですというような話をされたんです。私は出ていないのですが、夫がPTAの副会長ですので、出て、資料を持って帰ってきて、それを見たときの気持ちというのは、やっぱり今、単学級で何が悪いのとおっしゃる皆さんの気持ちと一緒にです。

ただ、校長をやっている本当に思うのですけれども、逃げ場がない。クラス替えという手が使えない。しかも人数がどんどん少なくなっていったときに、今10人切る学校とか学年が出てきたり、男女の比率がすごく悪くなってしまふ。今も男子3人の学年、女子1人の学年もあるので、そこは。もちろん本人たち一人一人に聞いたら、うまくやれているようだったらそれでもいいんだと思うのですけれども、個別のお子さん一人一人、港区の子どもたちが今この状況でも港区の課題に不登校があると言いましたけれども、規模の大小を問わず、どの学校にもありますし、全ての子どもの不安と問題に答えつつ、また可能性が伸ばせるように私たちも頑張って考えていきます。

最後に皆さんの声を全部聞けて本当にうれしかったです。ご意見本当にありがとうございました。

あともう一つ言わないといけないと思って。またこんな機会というか、続かなくなるのが残念だというお声、すごいうれしいなと思ったんです。こんな夜の会議とか出ていただいて

いて、難しい話をいっぱい行政から聞いていただいてそう言っていただけるなら、本当に、例えば年に1回でも、そういう拡大版の、区政会議という名前ではない形で、またお招きしてというか、お声かけしてきていただける方と意見交換もできたらうれしいなと思います。そのときは嫌がらずに来ていただければと思います。また考えますので。本当にありがとうございました。

○若林副区長 すみません、副区長の若林でございます。皆様、本日はお忙しい中、区政会議全体会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございました。また、貴重なご意見を賜りまして、重ねてお礼を申し上げます。

区政の運営に当たりましては、区民の皆様より様々なご意見をいただきながら、区内の実情あるいは特性に即した施策や事業を展開いたしまして、その成果についてご評価をいただき、施策・事業の改善や新たな展開につなげてまいりたいと考えてございます。

委員の皆様におかれましては、本日の会議が最後の会議にはなりますが、ただいま区長が申しましたように、今後も区政運営への疑問でありますとかよりよいアイデアなど、お気軽にご意見をいただければと存じます。

梅雨の大雨でありますとか、また台風のシーズンになりまして、様々な水害の心配もございますけれども、この夏は猛暑であるという予想が気象庁から発表されてございます。熱中症の危険性が危惧されるところでございます。どうか委員の皆様におかれましては、くれぐれも健康にご留意されましてお過ごしいただきますとともに、区政に引き続きご協力を賜ればと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

○前田総合政策担当課長代理 皆様、長時間のご意見、ご報告を聞いていただく機会、本当にありがとうございました。

本日の会議は以上となります。既に暗くなっておりますので、足元お気をつけてお帰りいただければと思います。本日はどうもありがとうございました。